

集中治療，救命救急領域における 抗菌薬使用状況調査

高橋佳子（感染管理委員会 代表担当者）
兵庫医科大学病院薬剤部（代表担当者施設）

研究内容

1. 集中治療，救命救急領域の抗菌薬使用状況の調査

各施設の薬剤部門の払い出しデータ，レセプトデータ，電子カルテなどの実施データ等から，各抗菌薬の使用日数 (days of therapy : DOT) を年度ごとに調査し集計する。

データは専用のシートに必要な事項を入力すると自動計算される。

＜抗菌薬使用状況の算出方法＞

$DOTs = \frac{\text{一定期間における特定の抗菌薬の延べ使用患者日数(日)}}{\text{同期間の延べ患者日数}} \times 100$

- 調査期間：2017年度，2018年度
- 調査対象：集中治療，救命救急領域入室中に対象抗菌薬を使用した患者 (集中治療，救命救急領域退出後は含めない)
- 調査対象抗菌薬：注射用抗菌薬 (抗真菌薬を含む)
- データ提出方法：患者個人情報を含まない状態で抗菌薬使用状況調査シートを各施設毎に固有のパスワードを付け，代表者にメールにて提出

2. 各施設におけるAST, ICT活動状況の調査

集中治療, 救命救急領域における antimicrobial stewardship team (AST), infection control team (ICT) の抗菌薬適正使用の活動について各施設の状況をアンケート調査, データ集計を行う。

- アンケート内容(2018年度)
 - 施設の基本情報：病床数, 年間のICU入室患者数
 - ICUの形態：体制 (Pronovost分類), 主たる患者, 管理料
 - 勤務形態：Infection control doctor (ICD), 薬剤師
 - ASTについて：介入度, 抗菌薬使用のタイミング, 用量の最適化, 中止の提案, TDMなど

得られる効果

- 全国的な集中治療，救命救急領域における抗菌薬使用状況の把握ならびに抗菌薬適正使用を推進するためのベンチマーク，指標が得られる
- 経年的に行うことにより，各施設におけるAS活動との関連，ASTがどのように関与すべきかが判明

参加募集について

- 調査にご協力いただける施設は、2019年9月13日(金)までに代表者 兵庫医科大学病院 薬剤部 高橋 yktabu@hyo-med.ac.jpまでご連絡ください。
- 電子媒体にて抗菌薬使用状況調査シート，アンケート，その他必要な資料を送付させていただきます。
- また，個別に施設毎に固有のパスワードを郵送させていただきます。
- データの提出期限は2019年11月末日です。
- 本調査にご参加いただいた施設に対しましては，全データのフィードバック，ならびに同規模，診療内容の施設をグループ化し，それら施設間での比較データをお返し致します。